

生活そのものがリハビリです

患者さん・ご家族が行うリハビリです

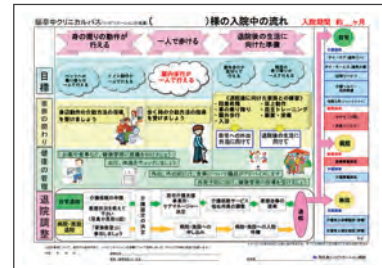
入院中

患者さん・ご家族

病棟スタッフ

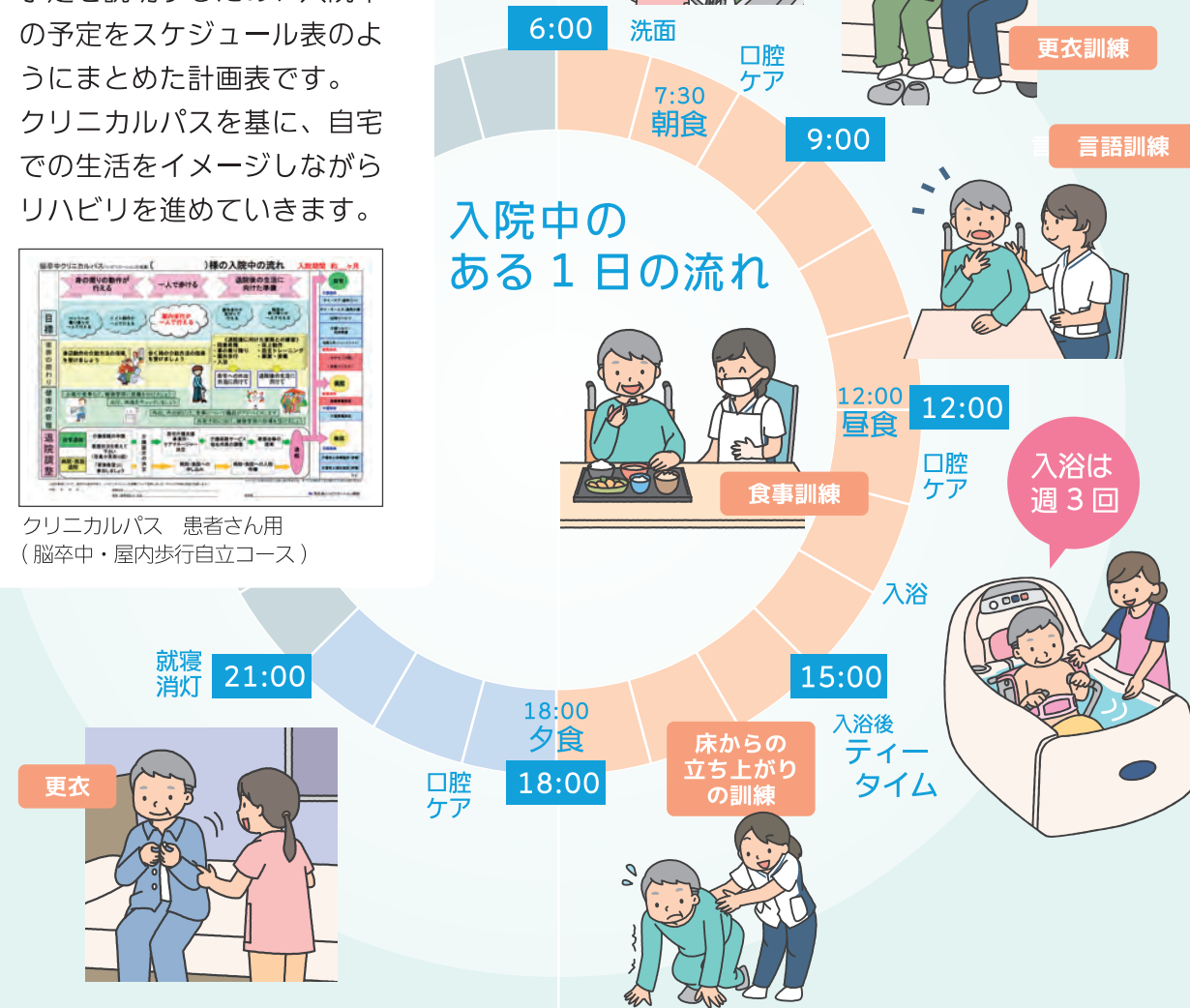
クリニカルパス

入院中のリハビリや治療の予定を説明するため、入院中の予定をスケジュール表のようにまとめた計画表です。クリニカルパスを基に、自宅での生活をイメージしながらリハビリを進めていきます。



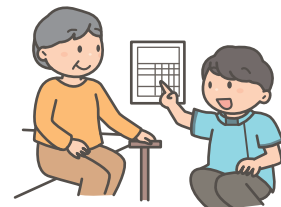
クリニカルパス 患者さん用
(脳卒中・屋内歩行自立コース)

入院中の ある1日の流れ



リハビリ目標

患者さんごとにリハビリ目標を設定し、それに沿ってリハビリを進めていきます。毎日の訓練や病棟生活の中でスタッフの支援を受けながら、1つずつ目標の達成を目指しましょう。



病棟でのリハビリ

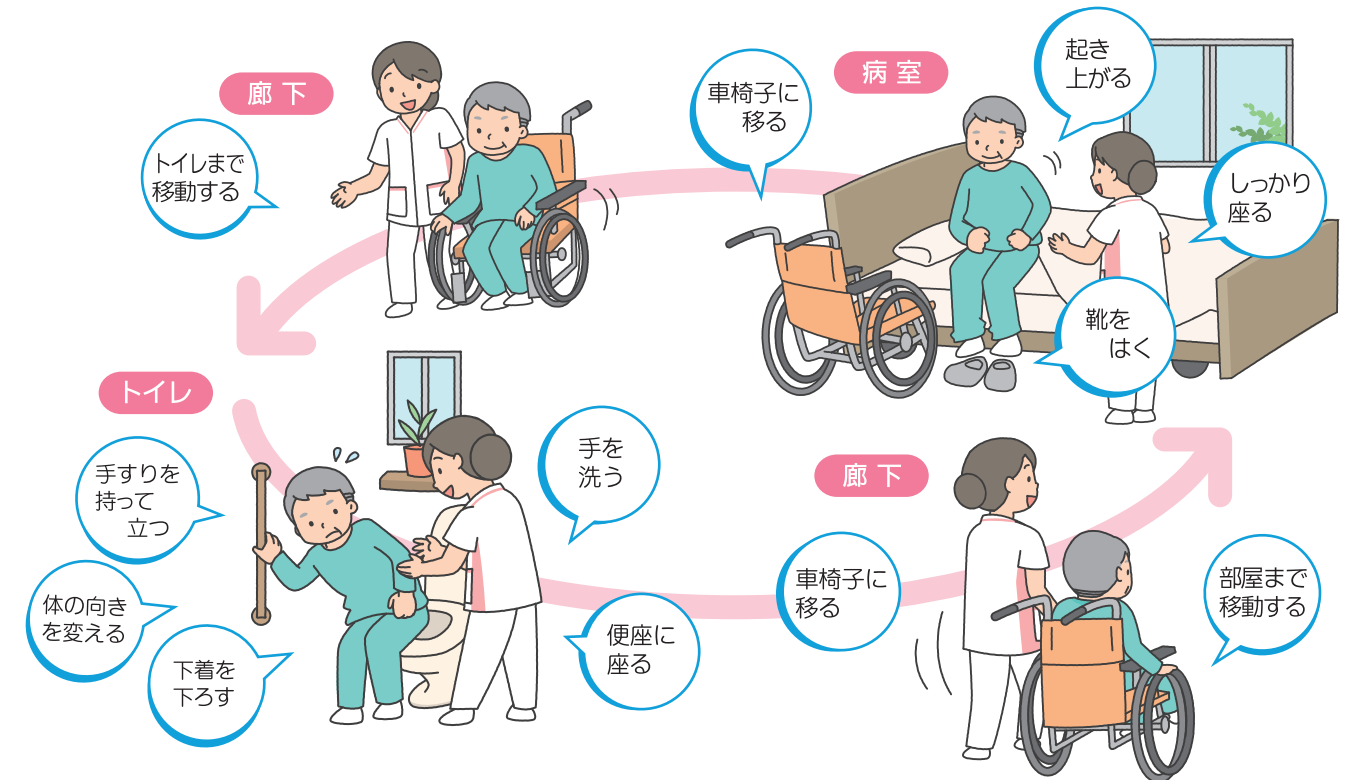
訓練室でリハビリスタッフと行うリハビリテーションだけでなく、看護・介護職員による病棟リハビリテーションを、日常生活動作の中でその都度行います。



自宅退院へ
向けての
目標の目安

- ・1人でトイレに行けること
- ・家族とコミュニケーションがとれること
- ・口から食べられること

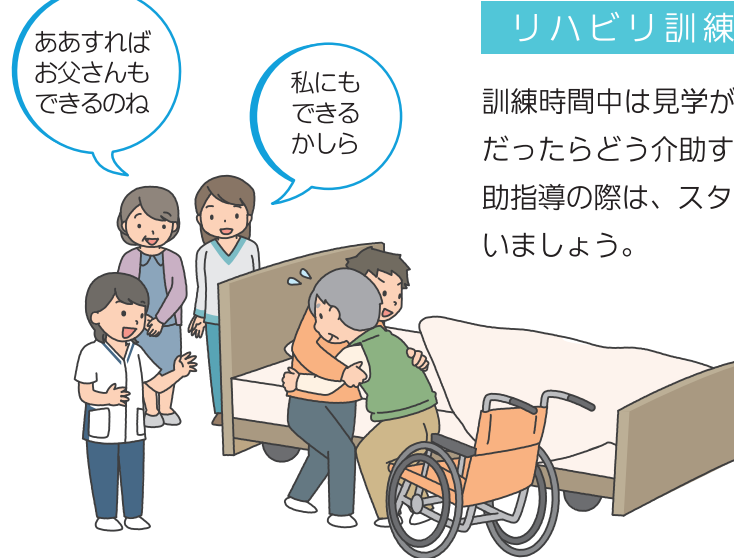
たとえば、「トイレに行く」という動作1つをとっても、実際にはこのような部分的な動作・一続きの動作を繰り返し練習する必要があります。このため、病院施設全体をさまざまな訓練の場所として使います。



患者さんは日々の生活・訓練の中でリハビリを行います。また、ご家族の皆さんにも、さまざまな場面を通してリハビリに参加していただきます。

リハビリ訓練の見学・介助方法の練習

訓練時間中は見学が可能です。患者さんの様子、職員の介助の様子、自分だったらどう介助するか…などを考えながら見学してください。また、介助指導の際は、スタッフが介助方法をお伝えしますので、一緒に練習を行いましょう。



必要に応じて、患者さんごとに介助方法等の資料をまとめた「西リハ版リハビリノート」をお渡しします。介助方法の基本は動画でのご覧いただけます。